

短命県返上テーマに小論文コンペ



2023年(令和5年)

12月号

発行
青森大学
広報室

〒030-0943
青森県青森市
幸畑2-3-1
TEL 017-738-2001
FAX 017-738-0143



薬学部1年奥玉颯汰さんに ハッピー・ドラッグ会長賞

ハッピードラッグ基金

を活用した「セルフメ
ディケーション小論文コ
ンペ」の表彰式が11月9
日、本学第5会議室で行わ

れた。

最高賞のハッピー・ド
ラッグ会長賞には、薬学部
1年の奥玉颯汰さんが選
ばれた。「短命県返上に薬



櫻井清会長（前列中央）と受賞者ら

受賞者一覧

- ハッピー・ドラッグ会長賞
奥玉 颯汰（東陵高校卒 ※宮城県）
「短命県返上に薬剤師ができること」
- 青森大学学長賞
高橋 佳奈子（新庄南高校金山校卒 ※山形県）
「ドラッグストアにおける薬剤師の役割」
～アスリートとアンチドーピング～
田澤 茉歩（八戸高校・岩手大学大学院農学研究科卒）
「薬剤師による地域貢献活動」
- 青森大学薬学部長賞
石川 広大（仙台城南高校卒 ※宮城県）
「短命県返上に薬剤師ができること」
神 那々瀬（弘前学院聖愛高校卒）
「学生が考える未来の薬剤師像」
小熊 陽風多（青森東高校卒）
「薬剤師による地域貢献活動」
今泉 結麻（弘前中央高校卒）
「薬剤師にできる地域貢献活動」
- ハピマル賞
小野 友理亜（東奥義塾高校卒）
「学生が考える薬剤師」
田邊 瑞穂（石巻高校卒 ※宮城県）
「短命県返上に薬剤師が出来ること」
佐渡 美生（青森東高校卒）
「ドラッグストアにおける薬剤師の役割」
熊谷 和奏（弘前中央高校卒）
「学生が考える未来の薬剤師像」
鈴木 希望（青森南高校卒）
「薬剤師による地域貢献活動」
山内 麻由（青森東高校卒）
「青森県民の骨粗鬆症防止のための身近に
できる対策について」
～短命県返上に薬剤師ができること～

剤師ができること」と題し
た小論文は、薬剤師が青森
でできることや可能性に
ついて自身の体験から
考察している。

ハッピードラッグ基金
は、地方薬剤師の質の向上
や地域医療への貢献、セル
フメディケーションの推
進に寄与することを目的
に、株式会社丸大サクラキ
が贈られた。

授賞式で奥玉颯汰さん
は、取り組んだきっかけに
ついて説明。株式会社丸大
サクラキ薬局の櫻井清会
長と櫻井英男常務取締役
からは、賛辞と祝福の言葉
が贈られた。

今年度は薬学部生27人
から応募があり、ハッ
ピー・ドラッグ会長賞の
ほか、学長賞には2人、学
部長賞には4人が、ハピマ
ル賞には6人がそれぞれ
受賞した。

がん専門の薬剤師を目指す奥玉さん



ハッピー・ドラッグ会長賞を受賞した奥玉颯汰さん（右）と櫻井清会長

まさか最高賞をいただ
けるとは思っていません
でした。櫻井清会長を始
め、櫻井英男常務、指導し
ていただいた先生方に感
謝します。私自身、がん専
門の薬剤師を目指して青
森大学へ進学しました。身
近にがんで余命宣告され
ながらも回復した親戚や、
スキーマの指導を受けてい

たコーチが突然がんで亡
くなったなどの出来事が
あり、それをきっかけに薬
学の道を目指すようにな
りました。小論文を書く中
で青森県のことを色々調
べました。死因の上位に
がんがあることや短命県返
上のCMをよく見るうち
に、ひらめくものがあり、
一気に書き上げました。

青森大学と青森県教育委員会は12月10日、高校生科学研究コンテストを青森大学記念ホールと3号館ホールで開催した。

最優秀賞には、八戸工業高校の研究「銀の凝固過程の磁場による影響」が選ばれた。今年で11回目を迎えたこのコンテストは、高校生たちの積極的な学習意欲を支援し、才能の芽を育むことを目的に始まった。回を重ねるごとに内容が充実。先輩たちの研究成果を後輩が受け継ぎ、さらに発

展を遂げた研究も披露された。柔軟な思考力と創造性豊かなアイデアが育まれ、科学分野に情熱を傾ける若者たちが青森県で広く活躍することが期待されている。

澁谷泰秀学長は「鋭い視点、計画、プレゼンが非常にレベルが高かったことに驚いています。今度はこちらも幅広く、全学を挙げてコンテストを盛り上げていきたい」と語った。



八戸工業高校 関口奏さん（左）と工藤蓮さん（右）

第11回 高校生科学研究コンテスト

創造性豊かなアイデアずらり



11校38チームが参加した

- ☆最優秀賞 銀の凝固過程の磁場による影響（八戸工業高校）
- ☆優秀賞 堤川の水質改善に向けて（青森高校）
雑草化したかつての有用植物：アカソの有効活用の研究3（田名部高校）
- ☆光言賞 八甲田山の火山噴火被害をリアルに可視化する（青森山田高校）
スクロースと塩化ナトリウムがクマムシの蘇生に与える影響並びに気象要素がクマムシの生態に与える影響について（青森高校）
- ☆ブルーリボン賞 土のひび割れについて（八戸高校）
抗菌作用をもつ植物由来のレーキ顔料の作製と機能評価（弘前中央高校）
- ☆SDGs賞 堤川の水質改善に向けて（青森高校）
New Power プラスチック～強く手頃でエコなプラスチック～（五所川原高校）

祝 おめでとうございます！ 更なる活躍を期待！！



2023年のプロ野球ドラフト会議で、横浜DeNAベイスターズから育成4位で指名を受けた庄司陽斗選手（写真中央）、八馬幹典スカウトリーダー（右）、河野亮スカウト（左）

ベイスターズへ 抱負語る庄司投手

身体をしっかり作り、支配下契約を勝ち取るために頑張ります。父母を含め関わってくださった皆さんのおかげで、スタートラインに立てていると感じています。活躍して恩返ししたいと思います。会見では、八馬幹典スカウトリーダーや河野亮スカウトに、闘志剥き出しの強気のピッチングを評価していただきました。これからも強気のプレーを続けていきたいです。

新体操団体連覇 太田キャプテン

今年のメンバーは、1年生と2年生が多く、チームとしては若く、多くの困難に直面しましたが、優勝・22連覇できて大変満足しています。男子新体操団体はこれまで6人制で行われてきた競技ですが、次年度からは5人制にルール改正が行われます。5人制での初代チャンピオンと23連覇を目指して練習を継続していきます。皆さん応援よろしくお願ひします。



第75回全日本学生新体操選手権大会団体22連覇、第76回全日本新体操選手権大会団体3連覇のメンバー。写真右から、村里剛一、石橋知也、太田悠介、田口海、中山蒼一朗、裏山大生の各選手